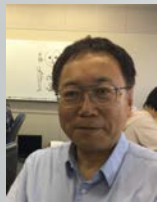




# アニメ中間素材の アーカイビングとその活用

アニメは、日本のポピュラーカルチャーにおいて重要な一翼を担い、また現在世界的に注目されていますが、作画紙・セル画などアニメ制作現場で作成、使用された中間素材は、デジタル化が進む中、散逸の危機に晒されています。本シンポジウムでは、そのようなアニメ中間素材の体系的な整理・保全をはじめ、社会的・学術的意義についての理解をアニメ業界・地域社会・国内外研究機関に広め、同資料の活用の可能性について検討を行います。

## スピーカー紹介



### 渡部英雄

1952年北海道札幌市生まれ。アニメ演出家・研究者。現在湘南工科大学専任講師。東映動画、竜の子プロ、サンライズ等で原画、絵コンテ、演出。『北斗の拳2』『機動戦士Zガンダム』『新世紀エヴァンゲリオン』他多数の作品に携わった。



### 野口光一

1965年岐阜県生まれ。東映アニメーション(株)プロデューサー。米映画『エアフォース・ワン』や邦画『男たちの大和／＼YAMATO』『海難1890』等のVFX制作に参加後、2014年公開のアニメ映画『楽園追放』でプロデューサーを務める。



### キム・ジュニアン

新潟大学人文学部准教授。著書に『イメージの帝国』他。2012年国際交流基金研究フェローとして渡日。日本アニメーション学会機関誌編集委員会委員長、*Animation: An Interdisciplinary Journal*のアソシエイト・エディター。



### ダリオ・ロッシ

ロンドン大学バークベック・カレッジにてアソシエイト・レクチャーを務める。ロンドン・アジア太平洋カルチュラルスタディーズ・フォーラムの運営メンバー。博士論文のテーマは、日本のメディアミックスにおけるトランスナショナル・ライセンシング。

※モデレーター：石田美紀（新潟大学人文学部准教授）

主催：新潟大学アニメ・アーカイブ研究センター

日時：2017年2月4日(土)15時～18時(14時30分会場)

会場：新潟大学駅南キャンパス・ときめいと内講義室B  
(新潟駅南口から徒歩3分)

〒950-0911新潟市中央区笹口1-1プラカ1/2階

Tel: 025-248-8141



※入場無料、会場の定員は34名です。

※お問い合わせ：kim.joonyang@human.niigata-u.ac.jp